

社長 Interview

有限会社小山電工社

昭和24年の創業後、長く社会インフラの生命線である電気工事を担ってきた小山電工社は、地域になくてはならない信頼厚い企業です。今回は令和元年から4代目社長を務める小山亜希子さんにリーダーとしての想いを聞きました。

「地域と社員の幸せのため
より適切なサポートが
できるように」



Profile
代表取締役
おやま あきこ
小山 亜希子さん
(40歳)
2003年入社
有明専
物質工学科卒

何をしている会社？

官公庁施設や教育施設、屋外電気設備、さらには高電圧を使用するプラント工事の設計や施工を行っています。電気は便利であると同時に大きな危険を伴います。市民の皆さまの安心な生活、事業者様の安全な工場運営のため、適切なワット数、接続など、ノウハウと緻密な作業を積み重ね、創業以来、絶対安全を貫いてきました。

この仕事をする理由は？

小学生の頃、通学路沿いで電気工事があり、その現場監督が父でした。なんだかかっこいいなあと(笑)。それに、電気は世の中になくてならないもの。大きな使命感を感じました。長く地域に根差した仕事を続けてきたので、地元のみなさんとの温かい絆の中で成長させていただいていることも大きな喜びです。

社長になったきっかけは？

入社以来、主に事務を担いながら経験を積み、さまざまな資格取得にまい進。電気工事をするためには電気工事士、施工管理技士、さらに土木に関する知識と資格も必要です。現場を理解しなければと一生懸命でした。

そんな時、先代社長が体調を崩し、私が急遽代表に就任。突然だったのでびっくりしましたが、コツコツ準備をしていて良かったと思います。

どんな職場？

この仕事は状況に合わせて新しい知識をインプットしていく必要があります。さらに体力勝負。どんな時もお互い助け合い、最大限安全管理に努めています。みんな楽しさと緊張感のメリハリを大事にして、家族のような和やかな雰囲気ですよ。

目標は？

社員に対しては身体を大事にして、充実した人生を送ってほしいと願っています。今後はDX化はもちろんです。社員の身体に負担がかからずにすむように良い機械を揃えたいです。私自身ももっと現場に出て、より実際の視点でみなさんをサポートし、ゆくゆくは女性の技術者にも活躍してほしいと思っています。



会社概要

- 高浜字前1825-43 ☎68-1424
- 建設業 ■従業員数 10人(正社員)
- 資本金 2,000万円
- 事業内容 コンセント・照明などの電気工事、冷暖房設備・冷凍冷蔵設備などの管工事、消防施設工事など
- 年間休暇日数 76日
- 有給休暇平均取得日数 16日
- 採用実績 採用年度：中途 R4:2人・R5:1人



若者へのメッセージ

周囲や自分を大切に思う気持ちが安全につながります

電気工事は手先の器用さも必要ですが、何より安全第一に他業種の企業さんと関わりながら進めていくチームワークが欠かせません。困ったことを伝えられるコミュニケーション力や、状況を整理整頓する力は身に付けてほしいですね。若い人たちには夢になるものを見つけ、周囲と一緒にがんばる経験をして、自分を大切にできる基本姿勢、他人を思いやる視点を持って、社会にでてほしいと思います。